

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	壮年期等保健事業						担当部	健康福祉部																										
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	保健センター																										
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	成人保健係																										
	総合計画 分野別計画	主目的	2 保健・福祉		6 健康づくり		1 心と体の健康づくりへの取組みを支援します																												
		副目的	8-2																																
	予算区分	款	4		項	1		目	4		大	3		中	1																				
	根拠法令・個別計画	健康増進法、健康こまきいきいきプラン																																	
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	概ね40歳以上の市民を対象として、主体的に体や心の健康づくりに取り組めるようにし、介護を要する状態に陥ることなく健康で生き生きとした生活が送れるよう支援する。																																	
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容</p> <p>健康教育事業(健康教室、地区健康教育の実施)  健康相談事業(定例健康相談、医師健康相談、予防相談、老人健康相談の実施)  機能訓練事業(パークアリーナ小牧で実施する筋力アップトレーニング)  訪問指導事業(疾病や要介護予防が必要な人に対する訪問指導の実施)を実施した。なお、事業については医師健康相談及び老人健康相談を除き、主に正職員で対応した。  いきいき世代の歯科健診事業は、40歳、50歳、60歳、70歳を対象に歯科医院に委託し、歯科健診を実施した。  健康こまきいきいきプランの推進及び、H17年からH25年の計画推進について評価した。</p> <p>◆25年度直接経費の内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>老人健康相談事業委託料</td> <td>2,253千円</td> </tr> <tr> <td>成人歯科健診事業委託料</td> <td>964千円</td> </tr> <tr> <td>いきいき世代個別歯科健診事業委託料</td> <td>3,445千円</td> </tr> <tr> <td>健康日本21こまき計画策定委託料(最終評価)</td> <td>1,926千円</td> </tr> <tr> <td>謝礼、需用費等</td> <td>4,780千円</td> </tr> </table> <p>◆26年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度実施した健康こまきいきいきプランの評価より、課題の抽出を行い、その課題解決に向けた取り組み、評価指標、目標値を考え、第2次健康こまきいきいきプランを策定する。</li> <li>・市民が健康づくりを実践する支援として、健康教育事業、健康相談事業、機能訓練事業、訪問指導、成人歯科健診等を実施する。</li> </ul> <p>◆26年度直接経費の内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>老人健康相談事業委託料</td> <td>2,366千円</td> </tr> <tr> <td>成人歯科健診事業委託料</td> <td>992千円</td> </tr> <tr> <td>いきいき世代個別歯科健診事業委託料</td> <td>4,371千円</td> </tr> <tr> <td>健康日本21こまき計画策定委託料</td> <td>2,900千円</td> </tr> <tr> <td>謝礼、需用費等</td> <td>7,062千円</td> </tr> </table>														老人健康相談事業委託料	2,253千円	成人歯科健診事業委託料	964千円	いきいき世代個別歯科健診事業委託料	3,445千円	健康日本21こまき計画策定委託料(最終評価)	1,926千円	謝礼、需用費等	4,780千円	老人健康相談事業委託料	2,366千円	成人歯科健診事業委託料	992千円	いきいき世代個別歯科健診事業委託料	4,371千円	健康日本21こまき計画策定委託料	2,900千円	謝礼、需用費等	7,062千円
	老人健康相談事業委託料	2,253千円																																	
成人歯科健診事業委託料	964千円																																		
いきいき世代個別歯科健診事業委託料	3,445千円																																		
健康日本21こまき計画策定委託料(最終評価)	1,926千円																																		
謝礼、需用費等	4,780千円																																		
老人健康相談事業委託料	2,366千円																																		
成人歯科健診事業委託料	992千円																																		
いきいき世代個別歯科健診事業委託料	4,371千円																																		
健康日本21こまき計画策定委託料	2,900千円																																		
謝礼、需用費等	7,062千円																																		
受益者負担	無																																		

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	15,489	16,136	13,368	17,691	
		正職員	従事者数	人	3.50	3.50	3.50	3.50
			人件費	千円	18,410	18,410	18,410	18,410
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	33,899	34,546	31,778	36,101		
対前年比	%			101.9	91.9	113.6		
財源	一般財源	千円	31,927	32,404	29,985	34,308		
	国・県支出金	千円	1,552	1,722	1,793	1,793		
	その他財源	千円	420	420	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	健康教育実施数	回	目標		273	300	300
実績				295	287	269	
健康相談実施数	回	目標		247	252	260	270
		実績		260	252	272	
いきいき世代個別歯科健診受診率 (H23年度開始)	%	目標		15	15	15	15
		実績		8	7	8	
績	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	健康づくりに日頃から気をつけている市民の割合	%	目標		79	80	80
実績				72	75	74	
生活習慣の改善にすでに取り組んでいる市民および今後改善してみようと思っている市民の割合	%	目標				70.00	70.00
		実績				66.60	

事業の自己評価	事業の達成状況	<p>壮年期以降の市民が自分の健康に関心が持てるように、健康づくりの情報発信を行った。 機能訓練事業の受講者やいきいき世代の歯科健診事業の受診者は伸びなかった。健康こまきいきいきプランの平成17年から平成25年までの評価を実施し、目標達成事項、改善方向の事項、悪化事項で評価、課題の抽出を行った。</p>					
	事業実施における課題	<p>健康に関心がある方も多く見られるが、がん検診や個別歯科健診の受診率が低迷していることから、健康に無関心な方も多いと思われる。市民の意識の向上を図るため、再度各事業の実施状況について精査し、適宜見直しをかけ関係機関と連携をとりながら、市民自らが健康づくりに参加したいと思う取り組みや環境づくりが必要である。</p>					
	事業を縮小・廃止したときの影響	<p>要介護状態になることの予防や年齢・体力に合わせた健康づくり支援など、質の高い生活が継続できるよう生活面に着目したサービスの提供をしており、他に類似する事業がないことから、これらの機能を果たせなくなると考える。</p>					
改善内容	平成26年度の改善内容	<p>26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)</p> <p>機能訓練事業について、対象、実施時期、内容を見直して経費削減を図る。 歯科健診や講座については、市民の目につきやすいところにポスター掲示をする。</p>					
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの				
	判定理由	<p>健康教育事業、健康相談事業、訪問指導事業は、どの事業も市民の健康の保持増進のためには必要である。事業の対象や手段については適宜見直ししていく。機能訓練事業については、これまでコース制で実施していたため、参加実人数が非常に少ない状況であった。費用対効果から判断すると効果としては非常に低いため、縮小とする。こういった状況を見直し、平成27年度はも引き続き縮小とし、コース制から単発へ実施方法を切り替え、参加実人数の増加をねらうとともに、スタッフ数を減少させ、備人料を抑えることでより効果的な実施を図る。</p>					
	27年度以降の改善案	<p>・第2次健康こまきいきいきプランに基づき、行政、地域、個人、関係機関が一体となって健康づくりに取り組むことができるように、健康日本21こまき計画推進部会で検討をしていく。 壮年期の身体活動の普及啓発、高齢期の低栄養予防、ゲートキーパー養成講座の開催、歯周病予防に関する普及啓発、禁煙・分煙に関する普及啓発を実施。</p>					

二次評価	方向性の判定	判定理由					
	縮小	<p>一次評価のとおり。 25年度外部評価で決定された取組を進め、改めて各事業の実施内容とその成果を精査し、効果が低いと思われる事業、受診率や利用者の少ない事業などについては、廃止・縮小を含めた見直しを行うこと。</p>					